

# NUX B-8 User Manual

## 安全上のご注意

- 表示された電圧でご使用ください。表示以外の場合、火災、感電、破損の原因になります。
- 本機の裏ふたやカバーを開けたり、分解、改造をしないでください。火災、感電、破損の原因になります。修理はお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 本機は湿気の多い環境、高い温度の場所、日光が直接あたる場所での使用は避けてください。
- 長い時間使用しない場合は接続を外してください。
- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害に関して、当社は一切責任を負いません

■本製品は FCC 規制パート 15 によるクラス B デジタル製品の制限に準拠しています。このため本製品の操作を行う際には、以下の 2 つの条件に従います。(1) 本機器が有害な電波障害の原因となる可能性はないこと。(2) 不本意な操作による電波障害を含む何らかの電波障害を本製品が受けた場合、それを受け入れなければならないこと。

本取扱説明書は大切に保管してください。

## 製品の概要

NUX B-8 は、自動ペアリングを備えた24bit/48kHzの高音質な2.4GHzワイヤレスシステム。最新のテクノロジーを搭載し、ピークパフォーマンス時では2.5msの超低レイテンシーを実現しました。

エレキギター、エレキアコースティックギター、ベースギターなど様々な楽器に対応。ユーザーフレンドリーなマッチングシステムにより、TX&RX の電源を入れるだけで、数秒以内に自動でペアリングが完了。各ワイヤレスセットにはNUX 独自のペアリング・アルゴリズムが採用されており、自動的にお互いを検出し、独自のID を作成します。

内蔵ブースターや、クロマチック/ ギターSTD/ ギターCPS/ ベースチューニングモードを備えたデジタルチューナーも搭載しており、ミュージシャンがステージで演奏する際に非常に便利です。

- ・周波数帯域: 2400 - 2483.5MHz
- ・オーディオ品質: 24bit/48kHz
- ・伝送距離
  - 屋内: 最大60m
  - 屋外: 最大50m
- ※電波干渉の無い空間での使用を想定した理論値となります。
- ・周波数特性: 20Hz - 20kHz
- ・レイテンシー:  $\geq 2.5$ ms
- ・THD+ ノイズ: 0.01%@1kHz 以下
- ・TX バッテリー: 最大6 時間
- ・チューニング精度:  $\pm 1$  セント
- ・チューニングレンジ: F#0 - C8
- ・チューニングモード: クロマチック/ ギターSTD/ ギターCPS/ ベース
- ・ブースト音量: 0dB - 12dB

## ファームウェアのアップデート

機能の追加 / 修正等を行う為、ファームウェアを更新することが有ります。最新のファームウェア情報は製品 HP をご確認ください。

NUX HP 製品ページ (<https://nuxaudio.com/product/b8/>) Support から、"NUX B-8 Firmware (Mac or Windows)" をダウンロードします。ダウンロードしたファイルは圧縮されているので解凍（展開）してください。

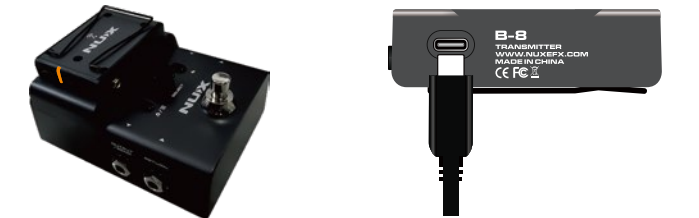
HOME ボタンと BACK TO ボタンの 2 つのスイッチを押しながら (押し込んだ状態のまま) 電源アダプターを接続してアップデートモードで起動します。アップデートモードで起動すると RX の画面に B-8 Device Firmware Update と表示されます。

PC と RX (レシーバー) を USB ケーブルで接続し、ダウンロードしたフォルダの「NUX Device Updater」を起動します。NUX Device Updater の「Select File」をクリックし、同フォルダ内の BIN ファイル (~.bin) を選択。「Start Update」をクリックし、アップデートを開始します。

Upgrade finished! のポップアップが出たらアップデートは完了です。NUX Device Updater を終了し、B-8 を再起動（通常起動）します。

## TXの充電

- TXは2つの方法で充電が可能です。
1. RXの電源を入れTXをRXの充電ポジションに置きます。充電が開始されるとTXのLED が点灯します。
  2. 5V/500mA以上を給電できるアダプターを使用し、USB-Cポート経由で充電します。



## 各部の名称と機能

### ■ TX (Transmitter)



#### POWER ON/OFF / MUTE ボタン

長押ししてTXの電源を入れます。TXの電源がONでRXとペアリングされた状態で1秒間長押しするとオーディオ出力をミュート、ミュート状態で1秒間長押しするとミュートを解除する事ができます。

#### CABLE TONE ON/OFF スイッチ

ケーブルトーンシミュレーションのON/OFFを切り替えます。ONにすると通常のケーブルを使用したときのようなウォームなサウンドを得ることができます。

#### LEDディスプレイ

LEDの色で下記を表します。

- |  |  |
|--|--|
|  | <ul style="list-style-type: none"><li>・ペアリングが完了すると点滅から点灯へ変化。</li><li>・電源投入時グリーン: バッテリー残量75%超。</li></ul>  |
|  | <ul style="list-style-type: none"><li>・電源投入時オレンジ: バッテリー残量50%超75%以下。</li></ul>  |
|  | <ul style="list-style-type: none"><li>・充電中レッド点灯。充電完了で消灯。</li><li>・ミュート時レッド点灯。</li><li>・ペアリング失敗時レッド点滅。</li><li>・電源投入時にレッド点灯: バッテリー残量15%超50%以下。</li><li>・電源投入時にレッド点滅: バッテリー残量15%以下。(まもなくTXの電源が切れます。)</li></ul> |

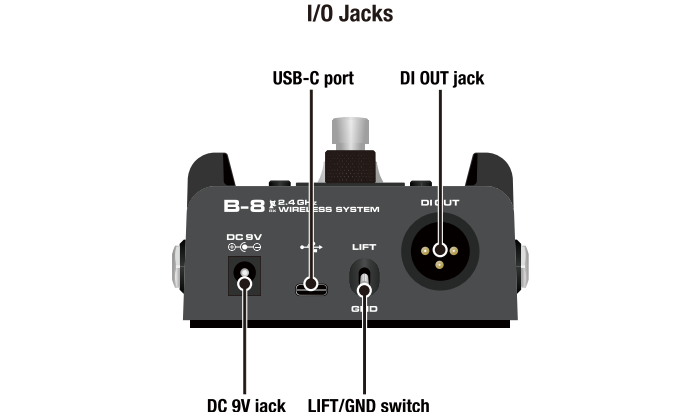
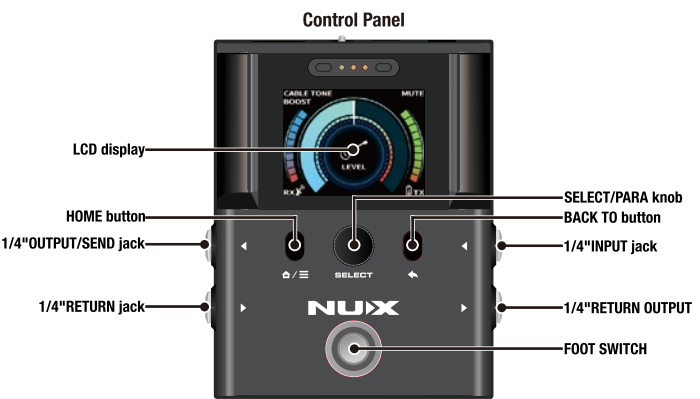
#### 1/8" INPUT ジャック

付属のケーブルを使用して、ギターなど楽器の1/4"アウトプットジャックを接続します。  
※ナットを締めてINPUTジャックとケーブルを固定してください。

#### USB-Cポート

TXを直接充電する事が可能です。充電時は5V/500mA以上のアダプターを使用してください。

### ■ RX (Receiver)



#### LCD ディスプレイ

視認性の高いカラーLCDディスプレイ。

#### HOME ボタン

ボタンを押すとホーム画面に戻ります。

#### SELECT/PARA ノブ

ノブを押して設定画面に移動したり、設定の変更を確定します。  
ノブを回して項目の選択やパラメータを調整します。

#### BACK TO ボタン

ボタンを押すと各設定画面からSETTING画面（設定メニュー）へ戻ります。

#### FOOT SWITCH

短押しでチューナー画面の表示、ホーム画面での長押しでブーストのON/OFFを変更します。（システム設定で変更が可能。）

#### DC9V ジャック

付属のACアダプター（ACD-006A）を接続しRXの電源を入れます。

#### USB-C ポート

USBケーブルを使用してPCと接続。ファームウェアのアップデートなどに使用します。

#### DI OUT ジャック

XLR バランス出力。RXをアンプやミキサー、オーディオインターフェイスなどにバランス伝送で接続することができます。

#### LIFT/GND スイッチ

DI OUT のリフト/グラウンドを切り替えます。

#### 1/4" OUTPUT/SEND ジャック

RXからアンプへ接続（出力）します。また、エフェクトループのSEND（出力）として使用する事も可能です。

#### 1/4" RETURN ジャック

エフェクトループ使用時、エフェクトペダルからの出力を接続します。

#### 1/4" RETURN OUTPUT ジャック

エフェクトループでSEND/RETURN ジャックを使用している場合、この端子でRXからアンプへ接続（出力）します。

#### 1/4" INPUT ジャック

TXが未接続（電源OFF）の時、このジャックにギターやその他の楽器を接続して使用する事ができます。

このジャックに1/4"ケーブルを接続するとRXは自動的に"CABLE IN"モードに切り替わります。このモードでは、チューナー、ディスプレイ設定、チューナー設定にのみアクセスできます。



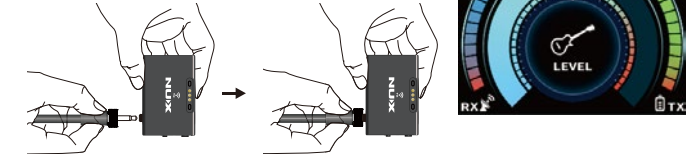
## 使い方

B-8 は工場出荷時にペアリングされています。RX( レシーバー) とTX( トランスミッター) の電源を入れるだけで自動的にお互いを検知し、安定した接続を確立できる最適なチャンネルを選択します。

1. POWER ON/OFF / MUTE ボタンを長押ししTXの電源を入れます。次にRXの電源を入れると、自動的にTXとRXがペアリングされます。

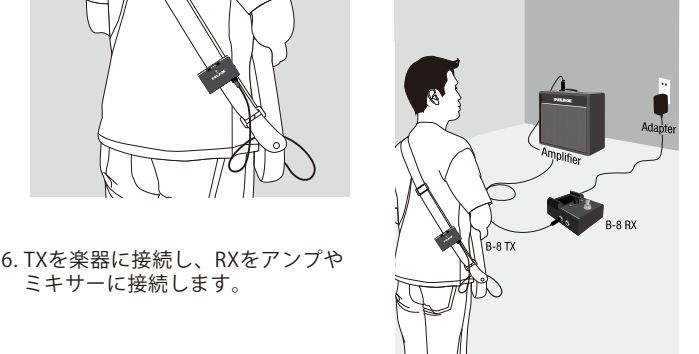
2. RXの画面には信号の入力レベル、信号の電波レベル、TXのバッテリー残量などが表示されます。

3. 付属のケーブルをTXの1/8"INPUTジャックへ接続し、ナットを回してTXとケーブルを固定します。



4. TXをストラップに取り付けます。

5. 最適な送信パフォーマンスを得るためにTXを下図の様にストラップへ固定した状態でご使用ください。TXが体から離れる事で送信に適した距離となります。



6. TXを楽器に接続し、RXをアンプやミキサーに接続します。

7. フットスイッチを押すと、チューナー画面へ切り替え、またはブースターのON/OFF が可能です。

フットスイッチによるチューナー画面の表示とブースターの切り替えは、システム設定から下記の2種類から選択する事ができます。

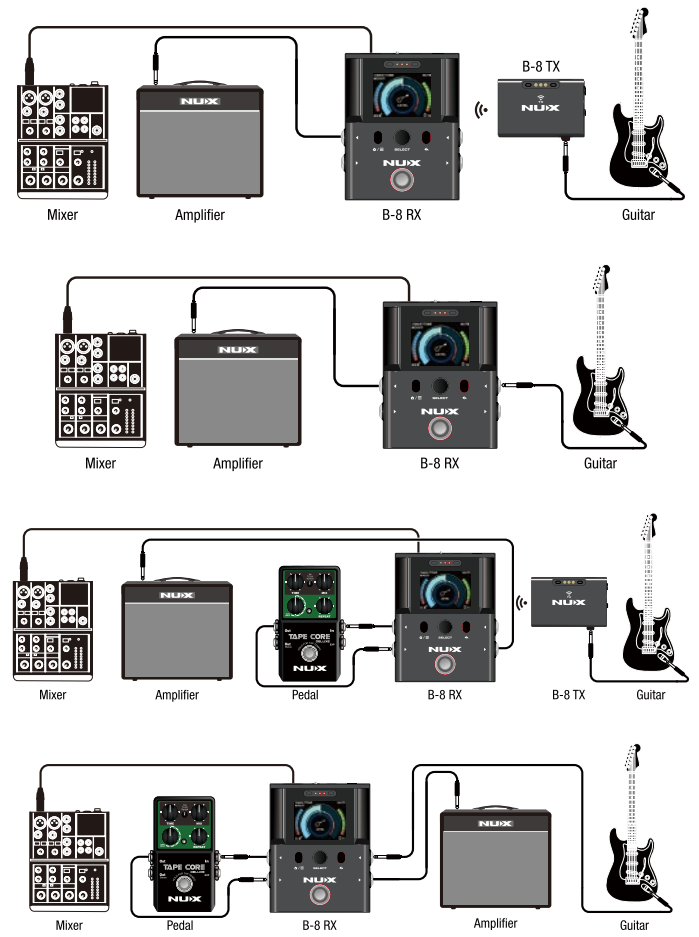
TUNERを選択するとフットスイッチの短押しでチューナー画面の表示、長押しでブースターのON/OFF。

BOOSTを選択するとフットスイッチの短押しでブースターのON/OFF、長押しでチューナー画面の表示。

※ チューナー画面ではブーストのON/OFF切り替えはできません。  
HOME画面に戻って操作してください。



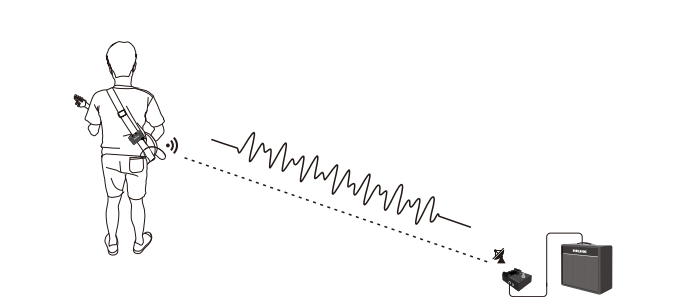
## 接続例



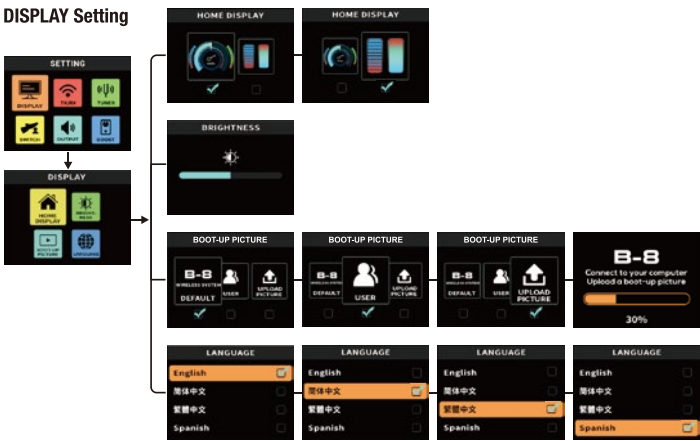
## ワイヤレスシステムのパフォーマンスを向上させるためのヒントと方法

B-8ワイヤレスシステムの使用中に干渉やドロップアウトが発生した場合、以下の方法をお試しください。

- ・周囲にWi-Fi機器があるかどうかを確認し、B-8のTRANSMITTINGを"low latency"と"stable"の間の最適な位置に設定してください。
- ・TXが十分に充電され、電源が入っていることを確認してください。
- ・TXとRX間の見通し線の上に大きな物体がないことを確認してください。
- ・TXとRX間の距離を短くしてみてください。例えば、ステージ上でB-8ワイヤレスシステムを使用する場合、RXをステージ上のTXの近くに置き、長いケーブルでアンプなどに接続することで改善場合があります。
- ・B-8ワイヤレスシステムを2セット以上使用する場合は、2セットのTXとRXをそれぞれ1m以上離してください。
- ・RXは、Wi-Fiアクセスポイント、コンピューター、Bluetoothデバイス、その他の有効になっている2.4GHz帯デバイスから遠ざけてください。
- ・使用していないコンピューター、携帯電話、その他のポータブルデバイスのWi-Fi設定は無効にしてください。
- ・B-8の使用中は大容量ファイルのダウンロードや映画の視聴など、Wi-Fi使用量の多い行為は避けてください。
- ・TXとRXを、金属やその他の高密度の物質が存在する可能性のある場所に設置しないでください。
- ・サウンドチェックの際、電波干渉が発生しやすい箇所などを事前に把握し、他の演奏者などにその場所を避けるよう依頼してください。
- ・最もパフォーマンスを発揮できる電波距離は10〜35mの間です。
- ・最適な使用方向は下図をご参照ください。RXとTXはプレイヤーの体によって遮られないようにしてください。



## システム設定



## Boot-up 画像のカスタム

GIF 画像をアップロードし、B-8 起動時の画像として設定することができます。

1. <https://nuxaudio.com/product/b8/#gallery>から"NUX GIF Customizer"をPCにダウンロードします。
2. BOOT-UP PICTURE内"UPLOAD PICTURE"を選択/ 確定し、B-8をUSBケーブルでPCと接続します。
3. JPEG、GIF、PNGいずれかの形式の画像をアップロードし、アプリケーション上で編集します。
4. GIFをプレビューし、B-8へアップロードします。



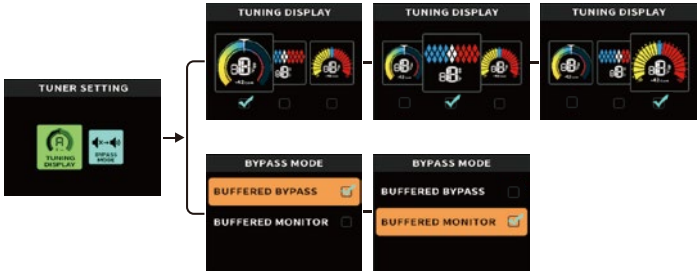
## 送信設定

送信パラメータは"LOW LATENCY"と"STABLE"の間で調整が可能です。  
※左端に設定すると、レイテンシーが最も小さくなります。（約2.5ms）  
※右端に設定すると、電波干渉防止に設定されます。これは、近くのWi-Fiデバイスがワイヤレス伝送に干渉を引き起こす可能性がある環境で、より安定性を求めるユーザーのためのものです。この設定では、レイテンシーが少し長くなります。（約8.7ms）  
※最高のパフォーマンスを得るために、周囲に無線LAN 機器があるかどうかを確認し、B-8 の送信を"LOW LATENCY" と "STABLE" の間の最適な位置に設定してください。

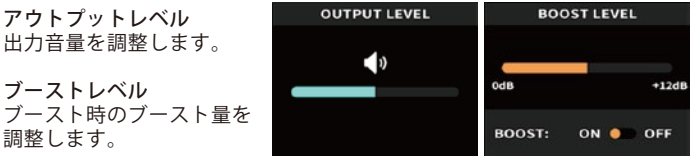


## チューナー設定

1. チューニング時のディスプレイモードを4種類から選択できます。
2. チューニング時のバイパスモード（音を出力するかどうか）を選択できます。



## アウトプットレベル＆ブースト設定



## ID の再マッチング& 手動ペアリング

B-8のTXとRXのIDは、工場出荷時にあらかじめマッチングされています。何らかの理由でIDを再マッチングしたい場合や、異なるセットの受信機と送信機をペアリングしたい場合は、以下の手順に従ってください。

1. TXの電源を切った状態にし、RXの電源を入れると、画面にSCANNING... と表示されます。この状態でフットスイッチを2 秒間以上長押しすると、"PAIRING..." と表示されます。



2. TXのON/OFFボタンを4秒間以上長押しするとTXのLEDライトが緑色に点滅し、TXとRXがペアリングを開始します。
  3. ペアリングが正常に完了すると、画面に "PAIRED" と表示されます。
- ※ 2 台以上のB-8をお持ちで、それらの再ペアリングを行いたい場合は、他のユニットの電源を切った状態で1 台ずつ行ってください。

## Specifications

- Operating Frequency Band: 2400-2483.5 MHz
- Transmission Power: <10 mW EIRP
- Audio Quality: 24 bit/48 kHz
- Frequency Response: 20 Hz-20 kHz
- Latency: 2.5 ms (best performance setting) - 8.7 ms (safety mode)
- Input Impedance: 1 MΩ
- Maximum Input Level: 1 kHz at 1% THD +6.2 dBV (5.78 Vp-p)
- THD+N: 0.01% 1 kHz, typical
- Dynamic Range: 122 dB, A-weighted (OUTPUT/SEND)
- Output level Adjustment Range: mute -64 dB~0 dB
- Built-in Battery Capacity: 3.7 V/500 mAh Rechargeable Li-polymer (Transmitter)
- TX Battery Life: up to 6.5 hours
- Power Requirements: 7 V to 12 V DC, 500 mA min, negative tip power supplies (Receiver)
- Operation Range: Up to 50 m (165 feet) maximum
- TX dimensions: 72.5 (L) x 49.3 (W) x 23 (H) mm
- TX weight: 63 g
- RX dimensions: 122 (L) x 95 (W) x 60 (H) mm
- RX weight: 500 g

付属品: TX用 6.35mm - 3.5mm オーディオケーブル、ACアダプター（ACD-006A）、USB-A - USB-C ケーブル、マニュアル兼保証書（本紙）

※ 仕様は予告なく変更となる場合があります。

## 保証書その他

- 万一、保証期間内(お買い上げ1年以内)に製造上の不備に起因する故障の生じた場合は、お買い上げ店を通じ弊社にこの保証書を添えてお申付け下さい
  - 必要事項が明記されていない場合は保証が実行されないことがございますのでご注意下さい。なお、本書は再発行しませんので大切に保存していただけますようお願い申し上げます。
- 免責事項について  
下記の場合は保証の対象とならず、有償修理となりますのでご注意ください。
- 1) 本保証書がない場合、また、記載内容に不備がある場合
  - 2) 取扱説明書に記載された内容以外の原因により不備が発生した場合
  - 3) お買い上げ後の使用上の誤り、改造、輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
  - 4) 火災、地震、水害、落雷などの想定外の災害などによる故障及び損傷
  - 5) 消耗品の交換
  - 6) 日本国内以外での使用

- 保証書に記載されている保証がすべてであり、この保証の外は、明示の保証・黙示の保証を含め、一切保証しません。
- この取扱説明書で説明された以外の使い方によって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 接続機器との組み合わせによる誤作動などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- この取扱説明書につきましては、万が一不明な点、誤り、記載漏れなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- 本製品およびこの取扱説明書に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。